

2016 年度

韓国留学報告書

実習先：慶熙大学校

実習期間：9月3日（土）～12月24日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015019
大滝理奈

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	3
	4 - 1 留学のスケジュール	3
	4 - 2 留学の詳細	7
5	所感	8
6	おわりに	8
	謝辞	9

1 留学先及び実習期間

留学先：慶熙大学校 国際教育院

留学期間：平成 28 年 9 月 3 日（土）～平成 28 年 12 月 24 日（土）

2 留学先概要

(1) 大学について

慶熙大学校は、ソウル東部に位置し、幼稚園から大学院までの総合教育体系を備えた私立大学である。ソウル、水原、光陵の3ヶ所にキャンパスがある。研修先であるソウルキャンパスは山を切り崩したような場所に建てられており、キャンパス内には急な坂道が多い。大学内にある国際教育院は、韓国語・外国語専門教育機関である。韓国語教育課程は、1993年に開始され世界中の提携校から留学生を受け入れている。

(2) 大学で行われている教育について

初級1・2、中級1・2、上級1・2の6レベルに分かれて韓国語の授業を行う。教材に沿ったオンライン授業もあり、韓国語の早い習得の手助けになる。語学だけでなく文化授業も充実している。トウミといわれる韓国語ヘルパー制度により、慶熙大学校の学生と1:1で交流する機会を設けている。また、2005年から TOPIK 実施機関として選定され、毎年 TOPIK 試験を実施している。

3 留学目的

今回の留学の目的は、対話力の向上である。国際文化学科での語学授業は週に3コマであった。初級だったこともあり、授業は基本的に日本語での説明であったし、韓国語を練習するときはあらかじめ、どういう質問をするか、それにどう答えるかを考えて対話文を作るといった感じだった。しかし、留学生活では常に韓国語が必要になるし、語学をメインに学ぶことができる。

そして、もう一つの目的は実際に訪れ、韓国文化を学ぶことである。近い文化を持つ日韓の違いを知ることは語学を学ぶうえで必要であると感じた。留学生活を通して日本との違いを感じたい。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
9	3(土)	到着	オリエンテーション、入寮
	4(日)		

	5 (月)	短期学期 入校式	
	6 (火)	授業開始	
	7 (水)	韓国語授業	文化授業
	8 (木)	現地学習	
	9 (金)	韓国語授業	
	10 (土)	韓国語授業	
	11 (日)		
	12 (月)	韓国語授業	文化授業
	13 (火)	韓国語授業	文化授業
	14 (水)	現地学習	
	15 (木)		
	16 (金)	韓国語授業	
	17 (土)		
	18 (日)		
	19 (月)	韓国語授業	文化授業
	20 (火)	韓国語授業	文化授業
	21 (水)	韓国語授業	文化授業
	22 (木)	韓国語授業	文化授業
	23 (金)	短期学期 修了式	
	24 (土)		
	25 (日)		
	26 (月)	韓国語授業	文化授業
	27 (火)	韓国語授業	文化授業
	28 (水)	正規学期 入校式	文化授業
	29 (木)	韓国語授業	文化授業
	30 (金)	韓国語授業	
10	1 (土)		
	2 (日)		
	3 (月)		
	4 (火)	韓国語授業	
	5 (水)	韓国語授業	文化授業
	6 (木)	韓国語授業	文化授業
	7 (金)	韓国語授業	
	8 (土)		
	9 (日)		

	1 0 (月)	韓国語授業	文化授業
	1 1 (火)	韓国語授業	文化授業
	1 2 (水)	韓国語授業	文化授業
	1 3 (木)	韓国語授業	文化授業
	1 4 (金)	韓国語授業	
	1 5 (土)		
	1 6 (日)		
	1 7 (月)	韓国語授業	文化授業
	1 8 (火)	韓国語授業	文化授業
	1 9 (水)	韓国語授業	文化授業
	2 0 (木)	韓国語授業	文化授業
	2 1 (金)	韓国語授業	
	2 2 (土)		
	2 3 (日)		
	2 4 (月)	韓国語授業	文化授業
	2 5 (火)	韓国語授業	文化授業
	2 6 (水)	韓国語授業	文化授業
	2 7 (木)	韓国語授業	文化授業
	2 8 (金)	韓国語授業	
	2 9 (土)		
	3 0 (日)		
	3 1 (月)	中間試験	
1 1	1 (火)	中間試験	文化授業
	2 (水)	韓国語授業	文化授業
	3 (木)	韓国語授業	文化授業
	4 (金)	韓国語授業	
	5 (土)		
	6 (日)	現地学習	
	7 (月)		
	8 (火)	韓国語授業	文化授業
	9 (水)	韓国語授業	文化授業
	1 0 (木)	韓国語授業	文化授業
	1 1 (金)	韓国語授業	
	1 2 (土)		
	1 3 (日)		

	1 4 (月)	韓国語授業	文化授業
	1 5 (火)	韓国語授業	
	1 6 (水)	韓国語授業	文化授業
	1 7 (木)	韓国語授業	文化授業
	1 8 (金)	韓国語授業	
	1 9 (土)		
	2 0 (日)		
	2 1 (月)	韓国語授業	文化授業
	2 2 (火)	韓国語授業	文化授業
	2 3 (水)	韓国語授業	文化授業
	2 4 (木)	韓国語授業	文化授業
	2 5 (金)	韓国語授業	
	2 6 (土)		
	2 7 (日)		
	2 8 (月)	韓国語授業	文化授業
	2 9 (火)	韓国語授業	
	3 0 (水)	韓国語授業	文化授業
1 2	1 (木)	期末試験	文化授業
	2 (金)	期末試験	
	3 (土)		
	4 (日)		
	5 (月)	韓国語授業	
	6 (火)	韓国語授業	
	7 (水)	正規学期 修了式	文化授業
	8 (木)	韓国語能力試験特別授業	文化授業
	9 (金)	韓国語能力試験特別授業	
	1 0 (土)	韓国語能力試験特別授業	
	1 1 (日)	韓国語能力試験特別授業	
	1 2 (月)	韓国語能力試験特別授業	
	1 3 (火)	韓国語能力試験特別授業	
	1 4 (水)	韓国語能力試験特別授業	文化授業
	1 5 (木)	韓国語能力試験特別授業	文化授業
	1 6 (金)	修了式	
	1 7 (土)		自由研修
	1 8 (日)		自由研修

	19 (月)	自由研修
	20 (火)	自由研修
	21 (水)	自由研修
	22 (木)	自由研修
	23 (金)	自由研修
	24 (土)	出発

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) 韓国語授業

文法、会話、読解、聞き取り、作文の5つの教科書に沿って韓国語を学ぶ内容であった。

ii) 文化授業

映画、歌、セミナー、特別講義を通して韓国の文化を学ぶ内容であった。セミナーではグループごとに韓国文化について発表し、個人ではそれぞれのテーマに沿って日本と韓国を比較して発表した。特別講義では、テコンドーや伝統楽器などを実際に体験したり、ハンダグや韓流についての授業を受けたりするという内容であった。

iii) 中間試験・期末試験

正規学期では、1学期間に2回の試験があった。中間試験はそれまでに習った範囲から会話試験と筆記試験が行われた。期末試験は1学期間で習ったところすべてが範囲であった。

iv) 現地学習

実際に民俗村や雪岳山に行き、韓国の歴史や文化を学びながらクラスメイトとの仲を深められる授業であった。

v) 韓国語能力試験特別授業

作文、聞き取り、読解の3領域からなる韓国語能力試験の対策授業であった。試験の問題傾向や対策、解説を受けた。

vi) 修了式

韓国語過程を修了し、成績表と修了証書が渡された。

vii) 自由研修

帰国日までの1週間は自由な時間であった。観光地巡りや釜山への日帰り旅行など最後の

留学生活を楽しんだ。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)対話力の向上

3週間の短期学期ではクラスメイトのほとんどが日本人で、授業以外では韓国語で話すことが少なかった。韓国語で話すのは授業中と外食時、そしてトウミと会う時ぐらいだった。トウミは韓国人の大学生なので、簡単な言葉でゆっくり説明してくれる先生とは違って聞き取れないことが多かった。聞き返しても単語が分からず、答えることができないこともあった。3週間はあっという間で、対話力が伸びてない焦りを感じた。10週間の正規学期は、多国籍だったため韓国語で話さなければならなかったし、トウミの質問に対して新しく習った文法を使いながら答えることができた。授業を通して文法や単語を学んでいくうちに、頭の中で思っていることを韓国語で説明するとどのようになるだろう、と考えるようになった。トウミと会う回数を重ねるうちに内容の濃い話ができるようになっていき、そのおかげでトウミとの時間も楽しめるようになった。留学生活において対話力の向上を一番実感できたのは遊園地の入場券を失くしたときだった。案内所で事情を説明して再発行してもらった。そして入場券と一緒に失くした交通カードの紛失届けもした。失くしたときは焦りしかなかったが、知っている韓国語で説明して解決できたことが自信になったのでこういう経験も大事だと感じた。

ii)韓国文化を学ぶこと

韓国に到着して最初に感じたことは、車やバスの交通量が多く、スピードが速い。また、お店の入れ替わりも早い。長く親しまれている飲食店もあるが、滞在していた4か月の間にも、気付いたらお店が変わっていたことが何度かあった。どちらもせっかちな国民性が表れていると感じた。そして、日本と大きく違うと感じたのは若者の政治への関心度であった。留学していた時期に反政権デモが起き、毎週土曜日にデモが行われていた。デモには若者の参加が多かった。また、私のトウミは日本についての知識がそれほどあるわけではなかったが、震災による福島原発事故について関心を持っていた。長期滞在をして初めて分かったこともあり、留学を通して学んだことは多かった。

6 反省・課題

留学生活を振り返ってみると、すべてが新鮮であったという間の4か月だった。留学での勉強が無駄にならないようこれからも韓国語の勉強を続けていきたい。そして、留学を通して学んだことを将来に繋げていきたい。

謝辞

今回、慶熙大学校国際教育院にて懇切丁寧な指導をしてくださった김순민先生、임지은先生、박상은先生、김슬기先生、韓国留学の現地サポートをしてくださった川上洋子さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の韓国留学担当で2016年度前期の授業、帰国後の各種活動への指導を賜りました、申銀珠先生、吉澤文寿先生、朴修禧先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。